

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

特定非営利活動法人 城下 子どもシティー「城下」

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	1	4	1	規定は満たしているがと一部屋あれば支援しやすい 個室などの空間があと一部屋でもあると活動もよりスムーズに行える
	②	職員配置数は適切であるか	4	2		
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	6			
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	6			会議にて支援、対応について話し合い情報を共有している
	⑤	保護者等向け利用者評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6			年度終わりにアンケートを実施し、ホームページ上にも結果を上げている。また、要望やご意見はその都度検討し業務改善に努めている
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6			ホームページで公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	3	1	外部評価は受けていない
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6			事業所内での勉強会や個々での学び、外部研修を受講し、職員の資質向上に努めている
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			収集した情報を活用し、1つの見方にとどまらないよう多面的に客観的に分析し、サービス計画を作成するよう努めている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6			独自のアセスメントを作成し、一人ひとりの成長し変化する適応行動の状況の理解に繋げている。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6			行事係を中心に全職員で取り組んでいる。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6			常に創意工夫を行い子供達が主体的に活動できるプログラムを考えている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5	1		時節にあった活動を設定していると思う。 利用時間に応じて個別支援計画に沿った課題を設定している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			運動や苦手な事を取り入れての活動をしている 子供の状況、保護者のニーズに応じサービス計画を作成している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6			確認事項を共有している 申し送りや共有事の話、口頭とノート管理でしている 支援開始前には必ずミーティングを行い職員間で情報共有、支援についての確認等を行い、その日の支援に向き合っている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6			翌日支援開始前のミーティングや職員間のノートを活用し、振り返りや情報共有を行っている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	1		毎日記録を取っている訳ではないが、その日の支援の気づきなどを最後に職員間で話し合っている。 日々の支援の記録は連絡帳になる。特記事項があれば別に記録を取り検証、改善につなげている。

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6			半年に1回見直しを行っている。
	⑲	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6			参画している
	⑳	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	6			気にしている事があれば送迎時などに情報共有している 基本的に保護者より学校の情報を提供していただくが、必要がある時は学校とも連携を取り対応している
	㉑	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	1	5		現在該当利用者は在籍していない。
	㉒	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	6			相談員より情報提供をさせていただいている。
	㉓	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	2	4		事例は無いが、必要があれば対応する。
	㉔	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	1	5		研修、講習を受ける機会があれば、積極的に参加したい。
	㉕	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	4		交流のみを目的とした活動は行っていないが、今後の課題として検討していく。
	㉖	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	3	3		参加している。
	㉗	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6			送迎時や連絡帳を通し、共通理解を深めて行けるよう努める
保護者等への説明責任等	㉘	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		4	2	現時点ではペアレント・トレーニングは行っていない。
	㉙	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6			管理者より契約時に書面にて説明をしている。
	㉚	保護者や家族からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6			相談を受けた場合、適切に応じるよう心掛けている。
	㉛	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	4	2		保護者参加の活動を行い、保護者同士関われる場を設けている。 不定期ではあるが、親子レク等を開催し、保護者同士の交流を図っている。
	㉜	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、保護者等に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6			苦情があれば、迅速に原因の追求と対策について職員間で話し合い、保護者へ報告を行うよう努めている。
	㉝	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6			毎月活動内容等を通信にて手作りで作成し発行している。 SNSや通信を通じて発信している。
	㉞	個人情報に十分注意しているか	6			個人情報の取り扱いについては十分に注意している

	③⑤	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6			利用者、保護者の気持ちに寄り添い、配慮できるよう心掛けている。
	③⑥	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	3		感染症の影響で地域住民を招待するイベントは開催できていなかったが、地域の清掃活動を積極的に行っている。
非常時等の対応	③⑦	緊急時対応マニュアルや防犯マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6			用紙を配布し、再確認したりHPに掲載している。
	③⑧	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6			防災訓練を定期的(年2回頻度)に行っている。
	③⑨	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6			身体拘束・虐待防止の研修を定期的に行っている。
	④⑩	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4	2		現在身体拘束を必要としている利用者はいない。
	④⑪	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6			事前に食物アレルギーを保護者へ確認し、食事の際は細心の注意を払っている。 アレルギーのある利用者については、職員間で注意、確認し対応している。
	④⑫	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6			危険な事例があった場合は、ヒヤリハットを作成し、職員間で共有している。